令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	基幹施設整備事業				コード	03110100-0302	
中事業名	スマートインターチェンジ整備事業				計画区分	①②③	
担当部等	産業政策部			担当課等	基幹施設整備課		
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	11	道路		款	08	土木費
	主要施策	01	幹線道路整備		項	04	都市計画費
					目	01	都市計画総務費
					大	03	基幹施設整備事業
					中	02	スマートインターチェンジ整備事業
根拠法令・条例等							
基本計画等	日進市人口ビジョン・総合戦略　等						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	東名高速道路へのアクセス性向上による産業振興・物流効率化や、一般道の渋滞緩和、観光施設及び防災拠点へのアクセス向上などの効果が期待される、（仮称）東郷スマートインターチェンジの整備を推進する。
対象	スマートインターチェンジ、周辺道路等
意図（目的）	スマートインターチェンジ及び周辺道路を整備することにより、東名高速道路へのアクセス性向上による市民の利便性の向上、周辺企業活動の活性化、観光地の振興促進、大規模災害への対応強化を図る。
手段	スマートインターチェンジ及び周辺道路の整備に向けた関係機関との調整及び設計、用地取得、工事

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			62,489	55,066	158,071	30,370	162,689	61,571	112,351
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	11,635	0	11,690	0	14,175
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	3,542	41,206	3,463	37,694	36,769	31,972
	一般財源		62,489	51,524	105,230	26,907	113,305	24,802	66,204

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	周辺住民や地権者の理解を得ながら関係機関と調整し、具体的な計画の一部見直しを提示し、事業の進捗を図っていく。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	事業の進捗に理解を深めていただくため、周辺住民や地権者、関係機関等と十分な協議、調整等を行う。

令和 3年度に取り組んだこと	沿線施設及び住民との協議を進めるとともに、中日本高速道路㈱管理区間の詳細設計、日進市道の修正設計等を実施した。また、用地測量の一部を実施し、土地所有者と境界確認の調整を行った。

成果	周辺住民や地権者から一定のご理解を得ながら継続して調整を行うことができた。また、設計や用地測量を行うことにより、事業の進捗を図ることができた。但し、引き続き調整が必要であり、更なるご理解を得られるよう継続していく必要がある。
課題	用地買収及び工事に向け、周辺住民や地権者に対し引き続き丁寧な説明を行い、理解を得ながら着実な事業の進捗を図る必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	供用開始に向けて、若干遅れながらも着実に事業を推進している。引き続き国、県、中日本高速道路㈱等の関係機関と調整を行うとともに、周辺住民や地権者の理解を得ながら事業の進捗を図る必要がある。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	周辺住民や地権者の理解を得ながら関係機関と調整し、具体的な計画の一部見直しを提示し、事業の進捗を図っていく。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	事業の進捗に理解を深めていただくため、周辺住民や地権者、関係機関等と十分な協議、調整等を行う。				

【アウトプット指標】

指標名	関係機関との会議等の開催回数					単位	回
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	1.00	1.00	3.00	1.00	4.00	3.00	3.00

【アウトカム指標】

指標名	スマートインターチェンジ整備率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	26.00	23.00	28.00	26.00	29.00	29.00	37.00
式	計画・設計等進捗率（30%）+用地取得率（30%）+工事進捗率（40%）						
指標の狙い	（仮称）東郷スマートインターチェンジ全体の整備進捗率を分かりやすいものに設定した。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	基幹施設整備事業				コード	03130100-0303	
中事業名	道の駅整備事業				計画区分	①②③	
担当部等	産業政策部		担当課等	基幹施設整備課			
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	13	住宅・市街地形成		款	08	土木費
	主要施策	01	計画的な市街地整備とまちの拠点形成		項	04	都市計画費
					目	01	都市計画総務費
					大	03	基幹施設整備事業
					中	03	道の駅整備事業
根拠法令・条例等							
基本計画等	日進市人口ビジョン・総合戦略、日進市道の駅基本構想、日進市道の駅基本計画						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	地域活性化の拠点施設として、都市活力やにぎわいが創出され、持続的なまちの発展と活力につながっていく「道の駅」の整備を推進する。
対象	道の駅、周辺道路等
意図（目的）	道路利用者のための環境整備に加え、子育て支援、防災・減災、農業振興といった地域課題の解決を図り、また、市民交流や情報発信の場として活用することで、地域内の経済活性、シティセールスにもつなげていく。
手段	道の駅基本計画、各種設計に基づく用地取得、管理運営事業計画の検討・構築　等

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			30,221	28,976	537,679	76,674	28,507	26,880	726,413
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	43,120	29,701	9,028	11,393	19,269
		県支出金	0	0	0	0	0	0	53,542
		地方債	0	0	330,000	0	0	0	423,000
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		30,221	28,976	164,559	46,973	19,479	15,487	230,602

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	指定管理者の選定に向け、市民ニーズの把握と更なる周知を図るためアンケート調査を実施するとともに、今後も起こり得る感染症への対策、コロナ禍で変化した販売、決済方法等への対応等に鑑みデジタル技術の情報を収集する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	事業の推進に理解を深めていただくため、地元本郷区、地権者、関係機関等と十分な協議、調整等を行う。また、アンケート調査の結果や収集したデジタル技術の情報を有効に活用し、道の駅の開駅に向けて、指定管理者への情報提供やにぎわい創出のための仕掛けづくり等に生かしていく。

令和 3年度に取り組んだこと	用地取得について、事業認定の申請手続きを行い、進捗を図った。また、令和３年度分の周辺道路等整備工事を完了した。管理運営面では、アンケート調査及びＲＦＩを行うとともに、条例（案）の審査を実施した。

成果	用地取得について、事業認定申請に対する意見書が提出されたことにより、手続に相当の時間を要することとなったものの、認定庁である愛知県と協議、調整等を適切に行うことができた。また、周辺道路等整備工事、アンケート調査、条例（案）の審査等は、計画どおり着実に事業を進めることができた。
課題	今後も地元本郷区や地権者との意見調整、関係機関との協議等を綿密に行いながら事業の進捗を図る必要がある。また、開駅に向け事業の更なる周知を図る必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	Ｂ	現状のまま継続	前年度評価結果	Ｂ
評価の理由	用地取得について、令和３年度中の購入に達しなかったものの、地元本郷区、地権者、関係機関等との協議、調整等を行いながら事業を進めており、今後も開駅に向けて同様に事業を継続することによって、着実に道の駅を開駅する必要があるため。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	用地取得について、事業認定申請の手続を完了し、用地を購入するとともに、道の駅に関する効率的な周知方法について検討する。また、周辺道路等整備工事を計画的に進める。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	事業の推進に理解を深めていただくため、地元本郷区、地権者、関係機関等と十分な協議、調整等を継続的に行う。また、道の駅の管理及び運営を行う指定管理者の候補者を選定し、開駅に向けた協議、調整等を行っていく。				

【アウトプット指標】

指標名	委員会等の開催回数					単位	回
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	4.00	5.00	4.00	3.00	4.00	3.00	4.00

【アウトカム指標】

指標名	道の駅整備率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	30.00	30.00	60.00	34.00	60.00	34.00	61.00
式	計画・設計等進捗率(30%)+用地取得率(30%)+工事進捗率(40%)						
指標の狙い	道の駅全体の整備進捗率を分かりやすいものに設定した。						